

す く す く 通 信 第4号

「心弾む！田植えドキドキキャンペーン」に当選された皆様に、6月3日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！（田植え後114日目の様子です）



6月の田植えから早4か月、一ヶ月前の「すくすく通信—第3号—」時点とは稲穂の色がとても変わったことがおわかりいただけるかと思います。秋めいて風が涼しくなった南那須の田んぼに、金色の稲穂が輝いて見えます。今週末、皆様に稲刈りしてもらえることを喜んでいるかのようですね。

お米は収穫した後すぐに食べられるのか？
というと、残念ながらそれはできません。

お米はコンバインという機械を使って刈り取り、「もみ」だけを収穫します。「もみ」とは、お米が包まれている皮のことを言います。収穫の後はおもみから玄米をはずす「もみすり」と言う作業を行い、その後ぬか層を取り除く「精米」という工程を経て、皆様に届けられます。

このように、ご飯として食べるまでには、農家さんをはじめ、たくさんの方が関わっているんですね～。日頃ご飯を食べるときに、ちょっと思い出していただくと嬉しいです。



今回をもちまして、今年度の「すくすく通信」の配信を終了とさせていただきます。短い期間ではありましたが、ご覧いただいた皆様、ありがとうございました。

今後とも、栃木県産米をどうぞよろしく
お願いいたします。

